

高次脳機能障害の理解と支援

～高次脳機能障害当事者と
臨床心理士によるトークセッション～

「不自由な脳－高次脳機能障害当事者に必要な支援－」、「不自由な脳は続く」(金剛出版)の著者である中途障害後を駆け抜けてきた当事者と、この障害の病態や支援に精通する心理士による高次脳機能障害支援を対談方式でお話していただきます。

ルポライター・高次脳機能障害当事者 **鈴木 大介** さん

こどもや女性、若者の貧困問題をテーマにした取材活動を中心とするルポライターだったが、2015年(41歳)で脳梗塞を発症して高次脳機能障害当事者に。その後は高次脳機能障害としての自身を取材した闘病記『脳が壊れた』、『脳は回復する』などを出版し、『「脳コワ」さん支援ガイド』にて日本医学ジャーナリスト協会賞大賞を受賞するなど、高次脳機能障害の多数の書籍執筆や講演活動を続けている。

臨床心理士・公認心理師 **山口 加代子** 先生

横浜市中心児童相談所の心理判定員、横浜市衛生局保健所心理相談員を経て、横浜市リハビリテーション事業団に臨床心理士として勤務。現在、リハビリテーション心理職会顧問、日本高次脳機能障害友の会顧問、川崎市南部療育センターアドバイザーなど、小児期から成人期の発達障害、高次脳機能障害の当事者と家族の方の支援に関わる。

日時：令和8年 2月23日(月：祝)

13：00～16：30(受付12：30開始)

場 所：和歌山県立情報交流センター Big・U 多目的ホール
(田辺市新庄町3353-9)

参加費：無料 定員：150名

締 切：令和8年2月6日(金)

※手話通訳・要約筆記付き研修会(予約不要)

申込み：右の二次元コードまたは裏面申し込み方法より
お申し込みください。



【問い合わせ先】和歌山県障害児者サポートセンター 障害者支援課内
(高次脳機能障害支援拠点機関)

TEL 073-441-7070 FAX 073-446-0036

e-mail e0404012@pref.wakayama.lg.jp

【申込方法】

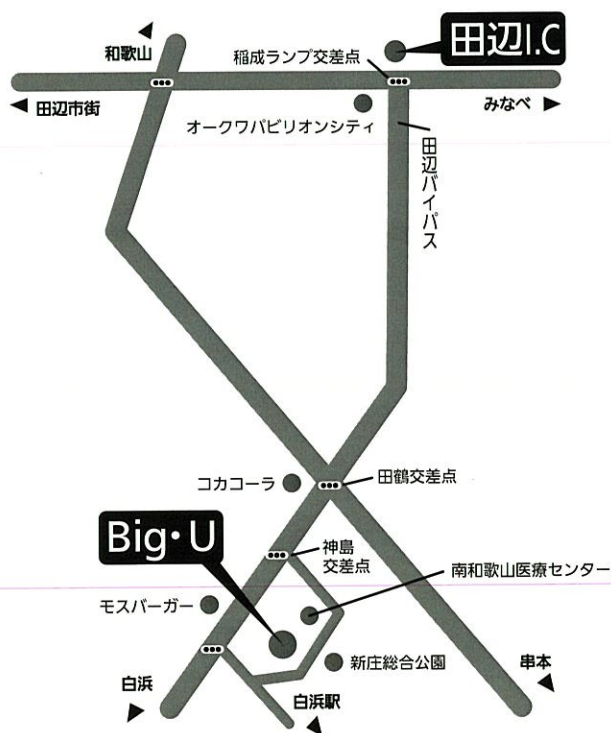
和歌山県電子申請フォーム・FAX・メールにてお申し込みください。

メール : e0404012@pref.wakayama.lg.jp

FAX : 0 7 3 - 4 4 6 - 0 0 3 6

お名前		高次脳機能障害者との関係	
ふりがな		※該当するものに○をしてください。 () 当事者・() ご家族 () 支援者【職種： 】 () なし	
団体／所属名	※個人での申し込みの場合、記入は不要です。		
参加人数	名（当事者 名・ご家族 名・支援者 名・その他 名） ※車いすスペース、手話通訳、要約筆記など必要な配慮があればご記入ください。		
住所	※市町村をご記入ください。		
TEL		FAX	
メールアドレス			

- ※ ご記入いただきました個人情報につきましては、個人情報の保護に関する法律を遵守し、適切に取り扱います。
- ※ 開催中の録画や録音などはお断りしております。
- ※ 当日の午前10時時点で県内において警報（大雨・洪水・暴風等）が発令されている等、緊急時には開催を中止とすることがあります。



お申し込み締切日
令和8年2月6日（金）

お車でのお来館
阪和自動車道「南紀田辺IC」より 約20分

電車での来館
JR白浜駅からタクシーで 約10分

駐車場、駐輪場のご案内

利用料 無料

第1駐車場 211台、第2駐車場 100台

※ 第1駐車場には、車いす使用者区画5台、ゆずりあい駐車区画5台があります。